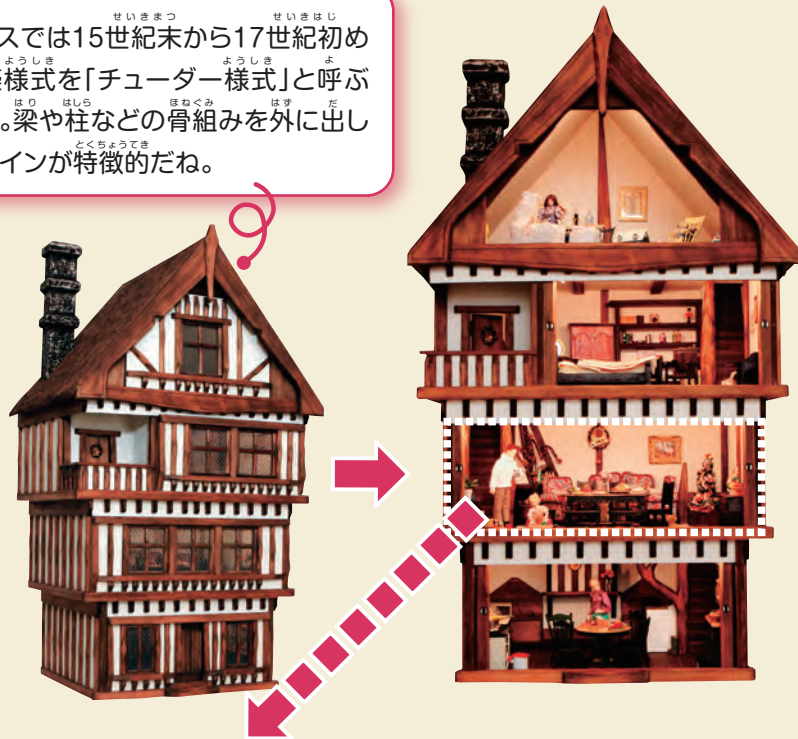


ジュニア・ガイド

ミニチュアの世界へようこそ

イギリスでは15世紀末から17世紀初めの建築様式を「チューダー様式」と呼ぶんだよ。梁や柱などの骨組みを外に出したデザインが特徴的だね。



《チューダー様式の現代の家「クリスマスイヴ」》
1996年 イギリス

建物は古めかしいけど、クリスマスツリーが飾られた部屋の中は現代的だね。イギリスの歴史的な建物は、その多くを昔のままの外観にしておくことが義務づけられているんだよ。ドールハウスもそれにならって外側は昔のまま、部屋の中を現代的にレイアウトしているんだよ。

*このジュニアガイドは箱根ドールハウス美術館館長 新美康明「ドールズハウス」(2012年、新樹社)を参考に作りました。

魅惑のドールハウス展ジュニア・ガイド 編集・発行:そごう美術館 2017年1月

ドールハウスってなに？

ひとことと言えば、みんなが住んでいる家をなかにある家具などもぜんぶ含めてそっくりそのまま小さくしたようなものだよ。ドールハウスは実物の12分の1で作られていることが多いんだ。それは、イギリスやアメリカで使われている物を測る尺度1フィート(約30センチ)を1インチ(約2.5センチ)に縮小しているからだよ。

一番古いドールハウスは、16世紀中頃(1558年)ドイツの侯爵が娘に贈ったものと言われています。自分の屋敷をそっくりそのまま縮小したミニチュアハウスは遊び道具というよりも、たくさんある部屋がどういう使われ方をするのか、そのなかでどういうふるまいをすればよいのかを教える「学び」のためのものでした。



たとえば左の東京駅を12分の1にするとこんな大きさだよ。東京駅は幅が約335メートルもあるから12分の1にしても幅約28メートルにもなる。ドールハウスといっても本物の家くらいの大きさになってしまうんだ。

このドールハウスは、作った人が通っていたアメリカの小学校をモデルにしたものだよ。教室に先生と数人の生徒しかいないので休み時間かもしれないね。

《エルムウッド・スクールハウス》
1930年代初期 アメリカ



魅惑のドールハウス展 $\frac{1}{12}$ のミニチュア世界

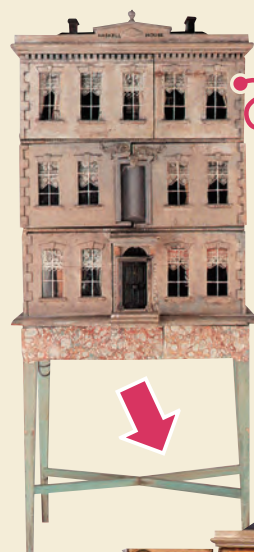
2017年1月20日(金) - 31日(火)
そごう美術館 [横浜駅東口 そごう横浜店6階]

〒220-8510 横浜市西区高島2-18-1 電話045(465)5515(美術館直通)
<https://sogo-seibu.jp/common/museum/index.html>



🌸 ドールハウス6つの楽しみ方

- 1 「見る」(鑑賞する)楽しみ・どれほど本物そっくりに作られているか。中でどんな生活をしているのかなどを想像すると楽しみが広がる。
- 2 「学ぶ」楽しみ・いろいろな時代や国々の生活をひと目で学ぶことができる。
- 3 「作る」楽しみ・ドールハウスをはじめ中の木製の家具、調度品を手作りする。
- 4 「集める」楽しみ・ドールハウスをはじめ中の陶器の食器や家具を集める。
- 5 「遊ぶ」楽しみ・ままごと遊びのように、人形や家具などを動かして楽しむ。
- 6 「旅をする」楽しみ・いろいろなドールハウスをみるためにアメリカやヨーロッパを旅する。



本物のガラスがはめこまれた窓が13カ所もあるよ。

《ハスケルハウス》
18世紀後半 イギリス



200年以上も前に作られた貴族の生活を物語る、手作りの豪華な飾りつけに注目!

扉の内側にはひとつひとつ違うカーテンとレースがかけられているよ。



《モトロポリタン美術館》

1930年代初期 アメリカ

本物の大理石でできた6本の柱で支えられている幅2メートル×高さ1メートルの大きなドールハウス

モトロポリタン美術館は、作った人の名前モッツとニューヨークにあるメトロポリタン美術館の名前を組み合わせさせて名づけられているんだよ。でも、中に展示されている作品のほとんどは、パリのルーヴル美術館にあるものなんだ。

ミケランジェロの《ダヴィデ像》やレオナルド・ダ・ヴィンチの《モナリザ》ミレーの《落ち穂拾い》も展示してあるから探してみてね!



《セダース・ウッドブリッジ》

19世紀後半 イギリス

1階左から:書斎、食器室、来客を迎える部屋
2階:中央の育児室をはさみ両側は寝室